

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドウィッシュあんじょう2号店		R7年 2月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・近くの公園に出かけるなどして分散させている	・活発な子が多い日など衝突もあるためこまめに声掛けが必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・勉強室、制作室、運動室と分かれており、角にはガードを付けている ・活動など、その日の流れが目で見えて分かるように張り出している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・宿題も個別にて行えたり、乱れた際にクールダウンに使っている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3	・PDCAサイクルは活用していないが、ミーティングにて振り返り等行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・意見に回答や改善策など個別にてお伝えしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ミーティングにて機会を設けており、その都度改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・毎月複数の研修を開催し、外部研修にも参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・作成中である	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・基本担当の人が考えているが相談は出来ている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・週ごとに変更している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・社員はミーティングで共有出来ているが、パートさんには支援中に共有することが多い
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援後は送迎などで共有の時間は取れないため、翌日行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・医療機関との直接の連携は取れていないが、保護者さんより共有してもらっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・子どもの様子などの共有、支援の仕方などは情報交換出来ている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・事前に共有することは出来ていないが、就学後などの送迎時等にて共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	2			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	31	(31は、事業所のみ回答)	4		・相談員さんとも常に情報共有し、困った時に助言して頂いている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		・園などはなかなか難しいが、公園や児童館などで交流している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・日々の様子を伝え、お困りごとなどお伺いしている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・コロナ緩和後、不定期にて行っている	
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			・きょうだい等一緒に参加できる活動など取り入れていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月発行している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・外国の方には翻訳アプリ等にて対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		作成はしているが、全てのものは周知出来かねている。いつでも見られる状態ではある
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		・策定出来ているが、訓練はこれから行っていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		・医師の指示書等必要児童無し
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		

公表

保護者等からの児童発達支援 事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュあんじょう2号店

公表日 R7年 2月 26日

利用児童数 7

回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			・子どものには狭いと感じていると思うが、外に連れ出してくれており、問題はない。 ・色々な運動を行っている。	これからも公園に外出するなどして十分に動き回れるようにしていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6				・子ども一人一人にきちんと対応できている。	送迎やその日に来る子の特性に合わせた人数配置をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6				・運動する場所と勉強する場所が分かれている。	動き回る遊びや制作活動の場所を分けられるようにしており、クールダウンや学習の際には別室で行える環境がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1			・きれいに清掃されている。	玩具を片付ける場所を明確にし、子どもたちが自分で片づけられるようにしている。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				・カリキュラムをしっかりと組んで取り組んでいる。	活動の際には一人一人の特性やベースに合わせて補助に付いたりしながら行っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					3月に公開予定となっている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					日々の子どもの様子や踏まえて職員間で話し合い、保護者の方とも面談を行ったうえで作成している。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				・目標がしっかりと設定されて活動している。	日々のお困りごとを常に把握し、反映している。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					ミーティング等で話し合い、常に支援方法を考えている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				・毎回違う活動を行っている。	保護者の方からの要望も聞きながら取り入れていきたい。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1	4		公園に行った際に事業所外の子と一緒に遊ぶ機会がある。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					契約時や法定改定時に説明し、お問い合わせがあればその都度回答させていたでいる。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					計画を説明した上で署名、捺印いただいている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3		2		コロナ終息後、研修などの機会を設けているが、保護者の方が参加しやすい日程で行えるようにしていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6				・日々の活動の様子を毎回伝えてくれる。	活動の様子やケガがあった際は送迎時など当日のうちに伝えられるように努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1		1	・連絡ノートで不安なことを伝えと、長い文章でしっかり返してくれるので助かっています。	定期的に面談は行っているが、不定期でも希望があれば随時受け入れて話し合う機会を設けている。 小さなことでも相談していただきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				・子ども一人一人に合わせて支援している。	常に寄り添い支援できるように努めている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3		2	・きょうだい向けのイベントがあれば参加したい。	きょうだいも参加できるイベントや活動も増やしていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			1	・相談したことは、きちんと答えてくれる。	相談や申し入れがあった際は対応している。 常に相談などは受け入れられる体制を整え、迅速に対応できるように努めている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					海外の方には翻訳アプリを使用し情報伝達できるようにしている。言葉では伝わりづらい子に対してはイラストなどを用いて伝えている。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				毎月活動を振り返った通信をHUGに掲載するとともに、Instagramでも随時、活動の様子を写真付きで投稿している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				契約時に日々の記録の際やSNSへの写真の掲載についての同意を取り、保護者の方の意向に合わせて対応している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4		2		保護者の方が常に見られる位置に配置し、モニタリング時などに見てもらえるようにしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1		非常時の備えも出来ており、毎月子どもたちが参加する避難訓練を活動に入れて行っており、職員のための訓練も行っている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5		1		交通安全についてなど子どもの活動としても安全に関するものを行っており、チェックリストを作成して安全な環境を整備できるようにしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1			緊急性を伴うものはすぐに連絡し、小さな怪我は送迎時などその日のうちにお伝えできるようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6			・職員と上手にコミュニケーションが取れている。	安心・安全を常に心がけて支援している。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1		・毎週楽しみにしている。	楽しんで通所できるように一人一人に合わせた支援を心掛けている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6			・毎回違う内容で支援を受けれて子どもも楽しみにしている。	より一層満足していただけるよう努めていく。